

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University

2022年度春セメスター
アジア太平洋学部
日本語基準
2回生編入・転入生向けの情報

2022年4月 アカデミック・オフィス

2回生編・転入生のみなさんへ

- 本資料は、2022年度4月入学 アジア太平洋学部(APS) 2回生編・転入生(日本語基準)のみを対象とした追加説明です。
- 事前に他の参加必須のガイダンスにすべて参加(視聴)してから、この資料を読んでください。

2回生編・転入生

- セメスター、回生、適用カリキュラムについて
- 2回生編・転入生は、入学時点で、第3セメスター生であり、2回生です。
- 適用されるカリキュラム:2017年度カリキュラム
アカデミック・オフィスウェブサイトや『学部履修ハンドブック』、
授業時間割を確認する際は、必ず 2017年度カリキュラムの
対象ページを見てください。

アジア太平洋学部(APS)2回生編・転入生の卒業要件

日本語基準の2回生編・転入生が、アジア太平洋学部(APS)を卒業するためには、以下の要件を満たす必要があります。

	要件	備考
1	少なくとも3年間在学していること	
2	入学時に認定された単位(標準30単位)を含めて合計124単位以上を修得していること	
3	必修言語科目の単位をすべて修得していること (もしくは履修免除されていること)	
4	各科目分野の必要単位数を修得していること	
5	英語開講科目を20単位以上修得していること (日本語基準国内学生のみ)	※日本語基準の国際学生には適用されません
6	4つの学修分野のうち、いずれか一つの分野を登録していること	
7	自身が登録した学修分野の必修科目(共通教養科目)を2単位以上修得していること	
8	自身が登録した学修分野の専門教育科目を28単位以上修得していること	

- 入学時に30単位を上限としてAPU入学前に修得した単位を認定します。
- 原則として、認定する単位の科目名はすべて「共通教養科目分野」となります。
※ ダブルディグリー・プログラム参加者は派遣元大学とAPUとの協定内容に基づき単位認定を行います。
- 認定された単位の成績はすべて「T」=Transfer(認定)となります。
また、認定された成績は、GPAには算入されません。

原則として、以下の科目は入学時の単位認定対象外です。

※ ダブルディグリー・プログラム参加者は派遣元大学とAPUとの協定内容に基づき単位認定を行います。

- 英語科目（必修科目）
- APS各学修分野の必修科目（共通教養科目）
- APM必修科目

* 必修科目はAPUで履修・修得する必要があります。

APS 単位認定後の卒業に必要な単位数

- プレイACEMENTテストの結果、英語の履修トラックが「スタンダードトラック」の学生

卒業要件コード: APS17JST (APS2017年度カリキュラム日本語基準スタンダードトラック)

科目分野		要卒単位数	認定単位数	必要単位数	合計
言語	英語科目	24単位	0単位	24単位	124単位 以上 (認定30単位を含む)
共通教育	登録した学修分野の必修 共通教養科目	2単位	0単位	2単位	
	共通教養科目	14単位	14単位	0単位	
言語教育科目および共通教養科目		0単位	16単位	0単位	
専門	登録した学修分野の専門 教育科目	28単位	0単位	28単位	
	APS専門教育科目	34単位	0単位	34単位	
他学部科目		0単位	0単位	0単位	

APS 単位認定後の卒業に必要な単位数

- プレイACEMENTテストの結果、英語の履修トラックが「アドバンスドトラック」の学生

卒業要件コード: APS17JAT (APS2017年度カリキュラム日本語基準アドバンスドトラック)

科目分野		要卒単位数	認定単位数	必要単位数	合計
言語	英語科目	12単位	0単位	12単位	124単位 以上 (認定30単位を含む)
共通教育	登録した学修分野の必修 共通教養科目	2単位	0単位	2単位	
	共通教養科目	14単位	14単位	0単位	
言語教育科目および共通教養科目		12単位	16単位	0単位	
専門	登録した学修分野の専門 教育科目	28単位	0単位	28単位	
	APS専門教育科目	34単位	0単位	34単位	
他学部科目		0単位	0単位	0単位	

2回生編・転入生 履修上の留意点

- 日本語基準国内学生は、英語で開講される(開講言語が「E」または「Es」の)共通教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得することが必要です。
- 2回生編・転入生は、「英語中級」を履修免除されていなくても、入学直後のセメスターから英語で開講される共通教養科目、専門教育科目を履修することができます。
- 2回生編・転入生は、1回生対象の演習科目(「スタディスキル・アカデミックライティング」と「多文化協同ワークショップ」)を履修することはできません。

2回生編・転入生 履修上の留意点

	項目	備考
1	日本語基準国内学生は、 <u>英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得</u> することが必要です。 (この要件は、国際学生には適用されません)	英語で開講される科目＝開講言語が(E)または(Es)の科目です。言語教育科目や両言語開講科目(E/J)は、「英語で開講される科目」にカウントされません。
2	2回生編・転入生は、 <u>「英語中級」を履修免除</u> されていなくても、入学直後の Semester から英語で開講される共通教養科目、専門教育科目を履修することができます。	ただし、大学が登録する(自動登録)科目は除きます。
3	2回生編・転入生は、1回生対象の演習科目を履修することは <u>できません</u> 。	対象科目:「スタディスキル・アカデミックライティング」、「多文化協同ワークショップ」

大学が登録する(自動登録)科目

- アジア太平洋学部(APS)2回生編・転入生の場合
以下の科目は、第3セメスターに、大学によって自動的に履修科目登録されます。

科目名	備考
英語科目(必修科目)	*プレイスメントテストの結果により履修開始レベルが異なります
APS入門	

※ダブルディグリー・プログラム参加者は単位認定の結果によって上記科目が登録されないことがあります。

履修科目登録上限単位数

・ 2回生編・転入生

回生	2回生		3回生		4回生	
semester	第3	第4	第5	第6	第7	第8
登録上限単位数	20	20	20	20	24	24



今semester（2021年秋）で登録可能な単位数

semester科目
第1クォーター科目
第2クォーター科目
セッション科目 } の単位数の合計

※2回生は、グレード番号100と200の科目を履修科目登録することができます

2回生編・転入生対象 科目名認定申請

※ 科目名認定申請は必須ではありません。

※ ダブルディグリー・プログラム参加者は派遣元大学とAPUとの協定内容に基づき単位認定を行いますので、科目名認定申請は不要です。

- APU入学前に修得した単位は、「共通教養科目分野」という科目分野名で単位認定されています。
- ただし、認定された科目の内容が、APUで開講する科目の内容と類似する場合に限り、審査によって、APUで開講する科目名に置き換えることができます(科目名認定)。
- なお、英語科目(必修科目)、APS各学修分野の必修科目およびAPM必修科目は科目名認定の対象外です。
- 科目名認定を希望する場合は、アカデミック・オフィス(ac5971@apu.ac.jp)に連絡してください。
- 申請締め切り: 2022年6月14日(火)16:30
- 必要書類:① 編・転入生 科目名認定申請書
- ② 成績証明書(原本)
- ③ 科目名認定を希望する科目のシラバス(科目概要)
- ②、③が、日本語または英語以外で作成されている場合、英語または日本語の翻訳を添付してください。